

令和８年度 淡路駅エリア・十三駅エリアのまちづくり方針に関する検討調査業務委託に係る
公募型プロポーザル方式による選定結果について

１ 案件名称

令和８年度 淡路駅エリア・十三駅エリアのまちづくり方針に関する検討調査業務委託
契約期間 契約日から令和９年３月３１日まで

２ 選定した委託予定事業者

株式会社日本設計 関西支社

３ 公募期間

令和８年６月１０日から令和８年７月１７日

４ 学識経験者の意見を聴取する選定会議の委員による審査の結果

(１) 選定会議委員名簿（敬称略）

補職名	氏名
関西大学 環境都市工学部 建築学科 教授	木下 光
和歌山大学 環境デザイン学領域 建築・ランドスケープメジャー 教授	佐久間 康富
大阪公立大学大学院 工学研究科 准教授	吉田 長裕

(２) 選定会議の開催日 令和８年７月２７日

(3) 審査基準

評価項目			基準		配点		
業務実施体制	実施体制の的確性		同種業務の実績があるスタッフを配置し、業務を確実に遂行できる体制であるかを評価する。		15	35	
	業務責任者		同種業務の実績があるか、また、その実績として挙げた業務において中心的、あるいは主体的に参画したかを評価する。		10		
	業務実施計画		各業務内容の関連性及びエリア特性を踏まえた実施方針や実施手順の妥当性を評価する。(なお、「2 業務内容に関する事項(2) 業務内容 3) 有識者へのヒアリング」にて想定される意見聴取先の分野等を、淡路駅エリア・十三駅エリアのそれぞれで示すこと。)		10		
テーマに対する技術提案	テーマ1	合理性	淡路駅エリア・十三駅エリアの導入機能の検討において、3エリア(新大阪・淡路・十三)における機能の役割分担を踏まえ、淡路駅エリア・十三駅エリアで特定の機能※を導入すると仮定した場合、参考事例の収集・整理と施設規模の設定の検討を行うにあたっての検討プロセスや留意点を、淡路駅エリア・十三駅エリアのそれぞれで示すこと。 ※特定の機能は、下記に掲げる機能とする。なお、提案にあたっては、下記の機能を主とする複合的な機能を有する施設を導入すると仮定してもよい。 〈淡路〉MICE 機能 〈十三〉中長期滞在施設	検討プロセスや留意点の内容が、参考事例の収集・整理や施設規模の設定の検討にあたって合理的か評価する。	10	65	
		実現性		検討プロセスの内容が、実現性を伴ったものか評価する。	20		
	テーマ2	実現性	淡路駅エリアの柴島浄水場開発用地におけるハード整備の検討にあたり、淡路駅エリア計画では「広大な将来開発用地を活かしたゆとりのある駅まち一体の空間形成と、エリア価値を高める機能の集積を図る」こととしており、広大な面積を活かした空間的なゆとりあるまちづくりが必要とされる一方で、拠点性の向上や事業採算性の観点からは一定の高度利用も必要となることから、空間のゆとり確保と高度利用の両立が求められる。 上記の内容を踏まえ、航空法や日影規制等により建物の高さに一定の制約があることに留意しつつ、柴島浄水場開発用地における高度利用とゆとりある空間を両立する都市空間のあり方について、イメージ図(断面イメージ図、鳥瞰図等)とともに提案すること。また、その考え方と、様々な観点からのメリット・デメリットをあわせて示すこと。提案対象区域は、柴島浄水場開発用地のうちの一部区域とし、任意で区域設定すること。	提案された内容・手法が、柴島浄水場開発用地における前提条件・制約条件を踏まえたうえで、実現性を伴ったものか評価する。	15		
		提案力		提案された内容・手法が、エリア価値の向上等の観点において、優れているか評価する。	20		
	合計						100

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

中央復建コンサルタンツ・パシフィックコンサルタンツ・日建設計特別共同企業体
株式会社日本設計 関西支社

全2者

(5) 審査の結果（委員の評価点の合計点）

評価項目			A 者	B 者
業務実施体制	実施体制の的確性		38 点	39 点
	業務責任者		25 点	26 点
業務実施計画			24 点	28 点
テーマに対する技術提案	テーマ 1	合理性	23 点	27 点
		実現性	49 点	51 点
	テーマ 2	実現性	34 点	42 点
		提案力	45 点	54 点
合計（300 点）			238 点	267 点